

## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 日和産業株式会社  
コード番号 2055 URL <https://www.nichiwasangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中澤 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長・総務部長 (氏名) 安井 秀夫

TEL 078-811-1221

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	39,648	3.2	426	478.2	446	178.6	557	469.7
2023年3月期第3四半期	40,950	22.2	73	79.1	160	63.1	97	67.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 662百万円 ( %) 2023年3月期第3四半期 42百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	30.80	
2023年3月期第3四半期	5.41	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	32,991	17,988	54.5
2023年3月期	29,708	17,435	58.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 17,988百万円 2023年3月期 17,435百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		6.00	6.00
2024年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	8.5	500		600		700	344.8	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	20,830,825 株	2023年3月期	20,830,825 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	2,718,972 株	2023年3月期	2,718,971 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	18,111,854 株	2023年3月期3Q	18,111,907 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和から社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国経済の動向に見られる不安定な経済情勢やエネルギー価格や資源価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況にあります。

主原料であるとうもろこしは、米国やブラジルの豊作により価格は下がりつつあります。副原料である大豆粕は、米国での減収やアルゼンチンでの大豆の不作により価格は高止まりしております。外国為替相場につきましては、日銀の金融緩和政策や米国のインフレ対策に変化がなく、日米金利差は拡大したまま推移し円安が続いております。

畜産物市況につきましては、鶏卵相場は、鳥インフルエンザの影響により前年度に引き続き高値で推移しましたが、生産量回復の影響から年末にかけて軟調に推移しました。鶏肉相場は、家庭での消費の増加から高値で推移しており、秋頃からさらに価格は上昇しております。豚肉相場は、輸入量増加の影響がありつつも猛暑による生産量の減少や需要の増加により夏頃は前年より高値で推移しましたが、秋頃からは生産量も回復したことから、前年を下回る価格で推移しております。牛肉相場は、需要は回復傾向にあるものの、前年とほぼ変わらない価格で推移を続けております。

このような状況のなか、当社は4月、7月、10月の3度にわたり配合飼料価格の値下げを行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高396億48百万円（前年同期比3.2%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は4億26百万円（前年同期比478.2%増）となり、経常利益は4億46百万円（前年同期比178.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億57百万円（前年同期比469.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### 飼料事業

飼料事業では、売上高は384億26百万円（前年同期比3.3%減）となり、原材料価格が落ち着きを見せたことから、セグメント利益（営業利益）は4億66百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

#### 畜産事業

畜産事業では、売上高は12億22百万円（前年同期比0.3%減）となり、豚肉相場の影響からセグメント損失（営業損失）は70百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）36百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ32億82百万円増加し、329億91百万円となりました。これは、主に現金及び預金が14億49百万円、受取手形及び売掛金が20億54百万円増加したことによるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ27億29百万円増加し、150億2百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が25億81百万円増加したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億53百万円増加し、179億88百万円となりました。これは、主に利益剰余金が4億49百万円、その他有価証券評価差額金が1億33百万円増加し、繰延ヘッジ損益が29百万円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年2月13日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,182	6,631
受取手形及び売掛金	13,449	15,503
商品及び製品	196	182
仕掛品	362	501
原材料及び貯蔵品	2,701	2,539
その他	1,176	1,155
貸倒引当金	△558	△466
流動資産合計	22,511	26,048
固定資産		
有形固定資産	5,833	5,774
無形固定資産	40	103
投資その他の資産		
長期貸付金	1,097	829
破産更生債権等	1,574	1,487
その他	867	1,020
貸倒引当金	△2,216	△2,272
投資その他の資産合計	1,322	1,065
固定資産合計	7,196	6,942
資産合計	29,708	32,991
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,675	9,256
短期借入金	4,269	3,969
未払法人税等	0	269
賞与引当金	95	45
その他	1,025	1,255
流動負債合計	12,066	14,797
固定負債		
長期末払金	84	82
退職給付に係る負債	21	22
資産除去債務	100	100
固定負債合計	206	205
負債合計	12,272	15,002
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,011	2,011
資本剰余金	1,904	1,904
利益剰余金	13,949	14,398
自己株式	△722	△722
株主資本合計	17,142	17,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	432
繰延ヘッジ損益	△6	△36
その他の包括利益累計額合計	292	396
純資産合計	17,435	17,988
負債純資産合計	29,708	32,991

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	40,950	39,648
売上原価	38,927	37,419
売上総利益	2,023	2,229
販売費及び一般管理費	1,949	1,802
営業利益	73	426
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	22	25
売電収入	40	36
為替差益	49	16
その他	69	45
営業外収益合計	197	133
営業外費用		
支払利息	42	42
支払手数料	43	47
売電費用	16	14
その他	8	8
営業外費用合計	111	113
経常利益	160	446
特別利益		
固定資産売却益	-	395
特別利益合計	-	395
税金等調整前四半期純利益	160	842
法人税等	62	284
四半期純利益	97	557
親会社株主に帰属する四半期純利益	97	557

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	97	557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	133
繰延ヘッジ損益	△164	△29
その他の包括利益合計	△140	104
四半期包括利益	△42	662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42	662
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。